徳島県
TOKUSHIMA Pref.

職員採用案内
RECRUITING GUIDE
2026

躍りだせ、徳島で！

発行年：2026年3月

新時代へ躍り出そう

「県民目線」「現場主義」未来志向の挑戦へ!

今まさに地方の正念場、「地方創生戦国時代」を徳島が勝ち抜くために、
徳島県職員は、県民の皆様とビジョンや政策の共有を図りながら、前例踏襲を打破し、新次元の政策実現に全力で取り組んでいます。

若者をはじめ誰もが「ずっと居りたい」、一度離れても「いつも帰りたい」、国内外の方々が「みんな行きたい」徳島を目指して、「県民目線」と「現場主義」で「未来志向の挑戦」ができる皆さんの力が必要です。
一緒に徳島新時代へ躍り出しませんか。

未来に引き継げる徳島を目指す3つのミッション

CONTENTS

01 目次/徳島のビジョン
02 徳島県重点施策
03 主な県の庁舎・組織図
04 職種紹介
05 職員インタビュー
17 新規採用職員インタビュー
19 子育て支援制度・育児体験記
21 研修制度・人事交流・勤務条件など
23 徳島県職員採用試験について
25 採用Q&A
26 採用までの主な流れ

mission

安心度 魅力度 透明度

徳島県庁は「未来に引き継げる徳島の実現」のために、「安心度」「魅力度」「透明度」を高めることをミッションとし、各政策の実現に取り組んでいます!

詳しくは! 徳島新未来創生総合計画HP

安心度UP 危機管理体制の充実と県土強靭化の推進

▲防災関係機関と連携したCPX(災害対策本部訓練)

切迫する南海トラフ巨大地震や、激甚化・頻発化する豪雨災害などの大規模自然災害に備え、防災装備品の充実、訓練の頻回実施、県公式LINEアカウントへの登録促進など防災・減災対策を推進しています。 [LINE]

安心度UP 健康づくり・医療提供体制の確保

▲「がん無視すんなよ!～徳島県のがん検診～徳島県

がんや難病の正しい知識の普及などを通じて、誰もが健やかに幸せに暮らせる社会を目指すとともに、医師・看護職員の確保や医療連携を強化することで、安心で持続可能な医療提供体制の構築に取り組んでいます。 [WEB]

安心度UP 「こどもまんなか社会」の実現

▲保育料無償化

「人口減少・少子化」、「児童虐待」、「こどもの居場所づくり」など複雑多様化する課題に対し、ライフステージに応じた「切れ目ない支援施策」を展開し、「住みやすく、育てやすい徳島」の実現に取り組んでいます。

魅力度UP とくしまの魅力向上、にぎわい創出による観光誘客

©2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. P170718-2

「徳島市中心部のにぎわい創出」と「新たな阿波おどりファンの獲得」に向けて開催した「徳島おどりフェスタ2025」では、有名連や学生連、県外連などによる阿波おどりに加えて、サンリオスペシャルパレードや眉山上空でのドローンショーなどを実施しました。

魅力度UP 徳島国際化・インターローカルの推進

県内経済の活性化や地域の課題解決を図るため、韓国・済州特別自治道との友好協力都市協定やタイ・プーケット県とのMOUを締結。就航2年目を迎えた国際定期便も合わせ、『徳島国際化元年』の歩みをさらに加速させています。

魅力度UP 生産性向上・人材確保

県内企業の人材確保・定着に向け、インターンシップ等の就職支援やマッチングを促進しています。また、多様な人材が活躍できる職場環境の整備や、持続的な賃上げの実現に向けた企業の生産性向上への支援に取り組んでいます。

魅力度UP 観光プロモーション「徳島で休んでく?」

徳島の認知度向上と関係人口の創出を図るため、阿波とくしま観光大使で俳優の「犬飼貴丈」さんを起用し、首都圏を中心とした観光プロモーションを展開しています。 [WEB]

透明度UP 開かれた県政運営の推進

▲徳島県庁クリスマスマルシェ

より魅力のある「開かれた県庁」の実現に向け、クリスマスなど、イベントに合わせた県民の誰もが参加できるマルシェを開催しています。

透明度UP 時代のニーズに対応する県政運営体制

▲若手職員プロジェクトチームの結成

若手の意見を取り入れた部局再編を行っているほか、全職員を対象とした意見募集により、万代庁舎内の全フロアに無線LAN環境の整備実現やGoogle Workspace導入など、働きやすく魅力ある職場環境づくりに取り組んでいます。

主な県の庁舎

組織図

知事部局

知事
副知事
政策監

部局	主な業務
知事戦略局	秘書、広報、知事の特命に関する事項など
危機管理部	危機管理、防災対策など
企画総務部	人事、財政、税務、市町村行政など
観光スポーツ文化部	観光・スポーツ・文化振興など
生活環境部	県民生活の向上、労働行政、環境行政など
こども未来部	次世代育成、子育て支援など
保健福祉部	地域医療、健康づくり、感染症対策、薬事、障がい者福祉など
経済産業部	産業振興、企業立地など
農林水産部	農林水産業の振興・普及など
県土整備部	道路・河川・港湾等の整備、都市計画など
出納局	出納、決算の調整

地方公営企業

部局	主な業務
企業局	電気事業、工業用水道事業など
病院局	病院事業

行政委員会

委員会	主な業務
教育委員会	学校教育
公安委員会	犯罪防止、犯罪捜査など
選挙管理委員会	
人事委員会	
監査委員	
労働委員会	
収用委員会	
徳島海区漁業調整委員会	
内水面漁場管理委員会	

議会

職種紹介

試験採用

行政事務
県税の賦課徴収や生活保護のケースワーク、許認可業務などのほか、施策の企画立案、条例・規則の制定、予算・経理といった内部管理業務など、県行政全般において様々な業務に従事。

電　気
水力及び太陽光発電施設並びに工業用水道施設等における技術（強電）的業務のほか、電気事業及び工業用水道事業等の経営に関する業務に従事。また、設備職として、県有施設の建設・営繕、県営住宅の建設・管理、建築設備工事の設計積算・監督等の業務に従事する場合もあり。

機　械
水力及び太陽光発電施設並びに工業用水道施設等における技術（機械）的業務のほか、電気事業及び工業用水道事業等の経営に関する業務に従事。また、設備職として、県有施設の建設・営繕、県営住宅の建設・管理、建築設備工事の設計積算・監督等の業務に従事する場合もあり。

建　築
建築物の確認審査や技術的な指導、県営住宅や学校施設などの公共建築物の設計や工事監理、住宅の耐震化や長寿命化、県産木材を活用した住宅の普及促進をはじめとする「安全に安心して暮らせる住環境の構築」に向けた政策立案や県民等の取組み支援などの業務に従事。

総合土木
道路、河川、砂防、港湾、海岸、都市計画等の社会基盤整備に係る政策立案及び事業計画の策定や、公共工事の設計積算、施工管理等の業務。また、「生産基盤の整備」「農村の整備」「農地の保全」など、農業・農村の整備に関する業務に従事。

農　業
農業技術の普及指導、農家経営改善指導、農業大学校での教育、新品種・新技術の開発等の試験研究、農産物の生産振興・流通対策、六次産業化、農村環境保全等の業務に従事。

林　業
林業技術の普及指導、造林事業、治山・林道事業、県民参加の森林づくり事業、林業プロジェクトで展開中の県産材の生産・流通・加工・需要拡大など森林整備や林業の振興に係る業務のほか、林業に関する試験研究等の業務に従事。

水　産
水産技術の普及指導、養殖技術の指導、水産資源の増殖・管理、水産物流通対策、生産基盤の整備など水産業の振興に係る業務のほか、先端技術や生産現場に直結する技術の試験研究等の業務に従事。

薬剤師
保健所等における薬事・衛生・環境に関する監視・指導等、保健製薬環境センターにおける医薬品・衛生・環境に関する試験研究及び検査等、県立病院における医薬品の調剤・製剤・服薬指導等の業務に従事。

管理栄養士
保健所等において、様々な関係機関と連携し、正しい食情報の発信と健康的な食事を選択しやすい環境を整える業務や、食の安全安心を推進するための衛生指導業務等に従事。
また、県立病院においては、適切な栄養管理と継続的な食事療養をサポートすることにより、治療の一翼を担う業務に従事。

試験採用

心　理
こども女性相談センター（県内3か所）、精神保健福祉センターなどの県民を対象とした福祉・医療領域の相談支援機関において、心理面接・心理判定・相談支援などの専門的な業務に従事。

保健師
保健所等において、地域の健康づくりや精神保健・感染症・健康危機管理対策等の広域的・専門的業務に従事し、多様な関係機関や県民との連携を通じ、地域の健康課題解決に向けた取組みを推進し、県民の健康を支える業務に従事。

化　学
大気汚染、水質汚濁等の監視・指導、環境影響評価の審査・指導、産業廃棄物対策等に関する業務、環境に関する試験研究及び検査業務に従事。また、本県の産業振興のための研究開発、技術相談、試験分析等の業務に従事。

司　書
県立図書館または県立学校図書室において、資料の収集、整理、保存、提供及びレファレンスに従事。また、県民や地域の課題解決に向けた図書館サービスの充実・向上を図る等の業務に従事。

福　祉
こども女性相談センター（県内3か所）における児童相談業務・一時保護業務・女性支援業務や、児童自立支援施設（徳島学院）における児童自立支援業務、福祉事務所における生活保護業務に従事。また、障がい者支援を行うセンター等における相談援助業務や福祉関係課における政策企画立案業務等に従事。

選考採用

獣医師
食肉の安全性確保や流通する食品の衛生監視と指導、人獣共通感染症対策や動物愛護管理、生物多様性の保全等に関する業務に従事。また、家畜伝染病の発生及びまん延防止や安全・安心な畜産物を提供するため、畜産農家への立ち入り検査や家畜伝染病サーベイランス、さらには動物用医薬品の監視指導や産業動物の診療等、畜産全般に係る総合的な指導業務に従事。

学芸員
県立博物館または県立美術館等において、調査研究、資料の収集、保管、展示、教育普及等の業務及びその他の行政事務に従事。

診療放射線技師
県立病院において放射線を用いた検査・治療の業務を行うほか、保健所における各種検診等、保健衛生に係る業務に従事。

臨床検査技師
県立病院において検体検査や生理機能検査等を行うほか、保健製薬環境センター等において環境衛生や食品衛生に関する検査・試験研究等に従事。

※掲載されている職種の採用が毎年あるとは限りません。
また、上記以外の職種を募集することもありますので、ホームページなどで最新情報をチェックしてください。

「職務の内容」をもっと詳しく知りたい方はコチラで

行政事務

吉本　靖宏
YOSHIMOTO YASUHIRO

経済産業部
企業支援課新産業立地室
係長

平成20年度入庁

「行政事務職」の業務概要
県税の賦課徴収や生活保護のケースワーク、各種法令に基づいた許認可業務、政策企画など県行政全般において様々な業務に従事

「行政事務職」の主な配属先
知事部局、教育委員会事務局、企業局、病院局ほか

徳島全体をつなぎ、新たな「うねり」をつくる

市町村が「住民の暮らし」に寄り添うなら、県は「地域や産業をつなぐ舞台」を整える仕事です。行政事務職の役割は、広い視野で徳島全体を見渡し、市町村の枠を超えた課題に道筋をつけること。バラバラだった点と点がつながり、ひとつの大きな流れに変わって、県内全域に波及し、地域の活力として循環し始める。そんな「徳島が動いている」という感動は、広域行政である県職員ならではの特権です。

次代を担う産業プロジェクト「徳島バッテリーバレイ構想」

「徳島を世界に誇る蓄電池産業の集積地にする」。このプロジェクトは、一自治体だけでは成し得ない「オール徳島」の挑戦です。そのため、庁内外関係者との調整をはじめ、企業誘致活動や県内の学校で、蓄電池教育が学べる環境の整備など、日々、県内外を駆け巡っています。投資を呼び込み、県全体に雇用の種をまく。私たちの奔走が、徳島経済の「新しい血流」となり、若者が地元で輝ける未来へとつながっていく。そんな「徳島の次代を担う」仕事を行っています。

「チーム徳島」をデザインする広い視野を

行政の仕事は、いわば「地域を動かすオールラウンダー」です。地味な事務作業に見えて、実はイベントの企画から、企業や困っている人のサポートまで、やりがいに満ちた挑戦が詰まっています。あなたの「もっと良くしたい！」というアイデアが、徳島の景色を変え、県民の笑顔を作ります。正確に、でも遊び心を忘れずに、最高の未来を一緒にデザインしていきましょう！

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

総合土木

橋本　昭彦
HASHIMOTO AKIHIKO

県土整備部　都市計画課
主任

平成23年度入庁

「総合土木職」の業務概要
道路、河川、砂防、港湾、海岸、都市計画等の社会基盤整備に係る政策立案及び事業計画の策定や、公共工事の設計積算、施工管理等の業務に従事

「総合土木職」の主な配属先
農林水産部、県土整備部内各課をはじめとする各所属ほか

地図に残る仕事で徳島の未来を創る

総合土木職の仕事は、単に構造物を作るだけではありません。道路や河川の整備は、防災や観光、産業など、地域の未来を形作る土台そのものです。
国や市町村、地域の方々と協力し、多くの人の想いを一つの「カタチ」にする。完成したインフラが地図に載り、県民の当たり前の日常を支え続ける。そのスケールの大きさが、この仕事の醍醐味です。

災害に強いまちづくりで守る県民の命と暮らし

現在は都市計画課で、災害に強いまちづくりに関する業務に取り組んでいます。具体的には、市町村のハード整備を支援する「都市防災総合推進事業」に関する助言や国との予算調整、「事前復興」に関するまちづくりワークショップ、被災宅地危険度判定士の育成など、有事に備えた体制を構築しています。
また、令和7年5月から運用が始まった「盛土規制法」に基づき、事業者への対応や盛土の調査も担当。ソフト・ハード両面から、県民の安全を守る基盤を整えています。

想いを景色に変えて徳島の未来を共に創ろう

総合土木職は、自分が携わった仕事が「形」として残り、地域の景色や県民の生活を支え続ける仕事です。インフラは防災、観光、産業など全ての活動の土台となるもの。だからこそ、「徳島をもっと盛り上げたい」というあなたの熱意を、一番大きなカタチで実現できる仕事です。私たちと一緒に、次世代に誇れる徳島の未来をデザインしていきましょう。

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

建築

谷口　正樹

TANIGUCHI MASAKI

県土整備部　営繕課
主任

平成28年度入庁

「建築職」の業務概要

建築物の確認審査や技術的な指導、県立高校や県営公園施設などの公共建築物の設計や工事監理などの業務に従事

「建築職」の主な配属先

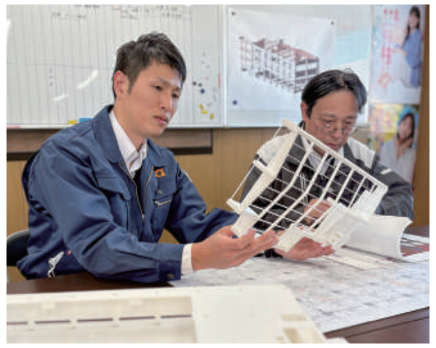
県土整備部住宅課・営繕課・都市計画課ほか

徳島の「安心」を支え、街の「ワクワク」を建てる

私達が目指すのは「みんなが行きたい」場所を作ることです。学校や避難所の防災力を高めて大切な命を守り、大規模なプロジェクトを通じて新しい「街の顔」をつくり上げる。単なる箱作りではなく、県民の笑顔が集まる拠点そのものをデザインするのが私たちの役割です。自ら手がけた図面が「かたち」となって風景になる感動は、建築職の特権です。

更地が「地図」に変わる瞬間。自分の仕事が、街の景色として一生残る

現在は、国府支援学校整備事業の建築工事を担当しています。何もない更地に鉄骨やコンクリートが組み上がり、巨大な建物へと姿を変えていく様子を最前線で見守っています。図面上の線が「現実の建物」として形を成していく圧倒的なスケール感は、建築職ならではの醍醐味です。完成した建物は、子どもたちの居場所として、これから何十年も地図に刻まれ続けます。



守る、繋ぐ、解決する。徳島をつくる「三本柱」の経験が、あなたを唯一無二にする

民間企業の「点」の追求がスペシャリストを育むなら、県の「面」の街づくりは、多角的なゼネラリストを育てます。法に基づき安全を守る建築指導、次世代へ繋ぐ営繕工事、耐震や空き家の社会課題を解決する公的支援。この三本柱を2～3年周期で経験し、技術と政策を繋ぐ、唯一無二の技術者へ成長出来るチャンスがここにあります！

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

農業

森本　祥平

MORIMOTO SHOHEI

農林水産部
農林水産総合技術支援センター
資源環境研究課
主任

令和3年度入庁

「農業職」の業務概要

農業技術の普及指導、農家経営改善指導、農業大学校での教育、農産物の生産振興・流通対策、六次産業化、農村環境改善に従事

「農業職」の主な配属先

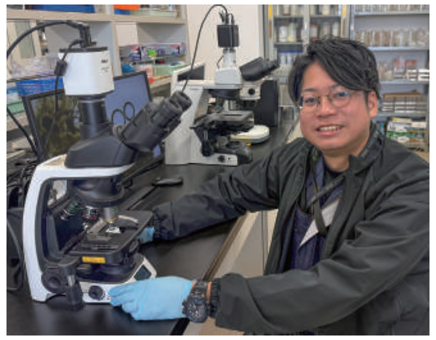
農林水産部内各課、農林水産総合技術支援センターほか

フィールドは多岐に、徳島の農業を一生の専門に

県の農業職の仕事は、研究、普及指導、行政など多岐にわたります。配属先によって役割は異なりますが、それぞれの立場で知識や技術を磨きながら仕事に取り組むことができます。私自身、初めに配属された部署では普及指導員として栽培技術の普及に携わり、現在は病害虫防除所で果樹病害に関する研究や病害虫発生予察等に取り組んでいます。こうした経験を通して、専門性を活かしながら農業に関わり続けることができる点が、この仕事の魅力です。

県農業を守る、病害虫対策の最前線

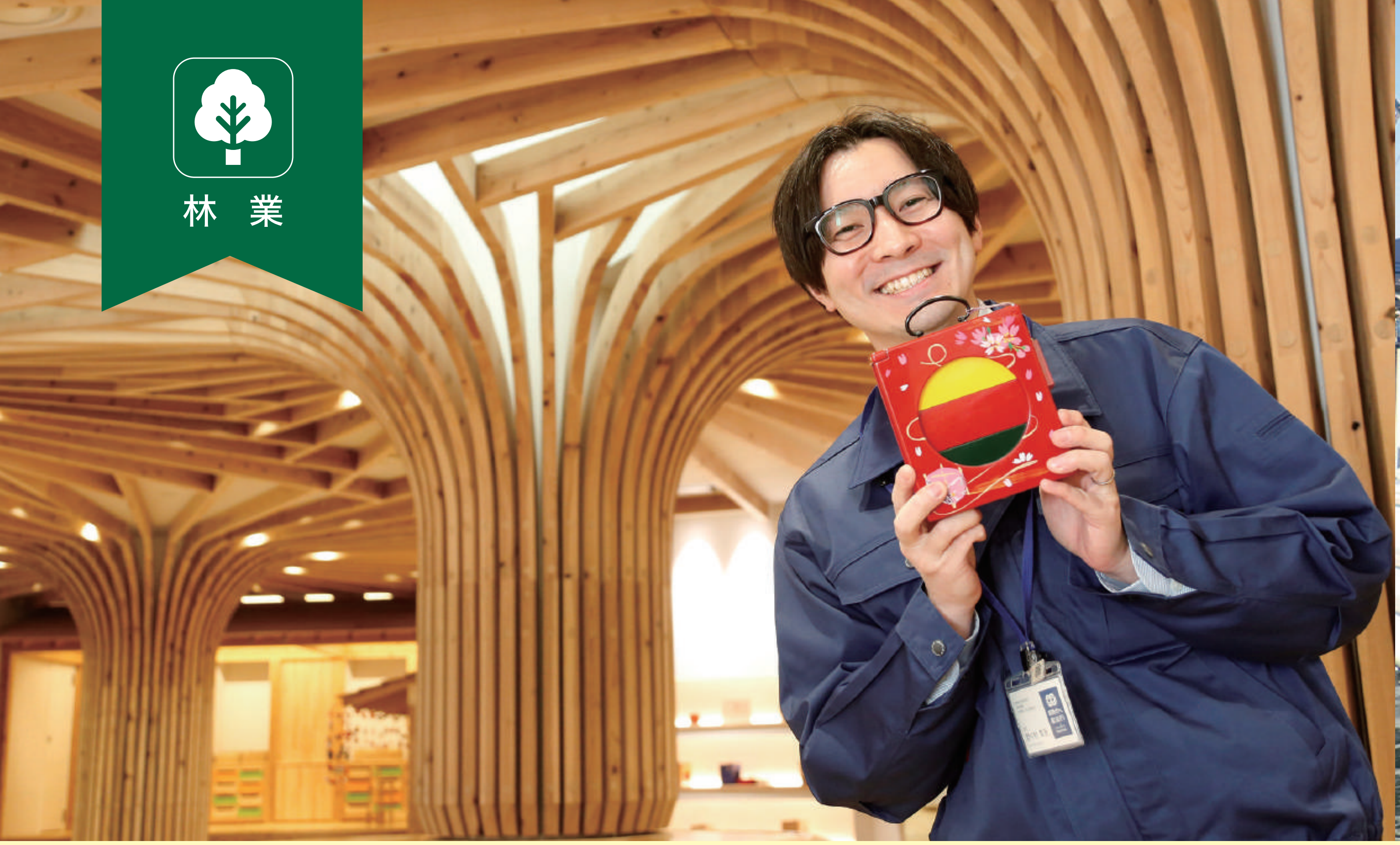
県内を巡回して病害虫の発生動向をつかみ、発生予察情報として県生産者の皆様に発信するのが病害虫防除所の主な仕事です。また、研究では、輸出検疫の現場で求められる病害対策について、現場のニーズも踏まえながらカンキツを対象とした技術開発を進めています。発信する情報や研究で得た知見が農業現場に直結する仕事だからこそ、緊張感を持って仕事を進めるよう心がけています。自分の専門を活かして県農業に貢献できることにやりがいを感じます。



最先端技術で徳島の未来を耕すスペシャリストへ

県の農業職は、私のような研究員の他、普及指導員や行政事務、農業大学校の先生など、さまざまな立場で農業に関わることができます。日々変化する農業現場ではAIやスマート農業など、新しい技術も取り入れられており、職員が活躍する場は広がっています。農業に興味がある方や専門を活かしたい方にとって、これまで培った自分の知識や技術を活かせる仕事です。一緒に徳島の未来を耕しましょう！

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。



林　業

野々村 真吾
NONOMURA SHINGO

農林水産部　林業振興課
主任

令和3年度入庁

「林業職」の業務概要
県産材の生産・流通・加工など森林整備や林業の振興に係る業務のほか、林業に関する試験研究等の業務に従事

「林業職」の主な配属先
農林水産部林業振興課、森林土木・保全課をはじめとする各所属ほか

深呼吸できる仕事場。自然も人も、穏やかで温かい

豊かな自然に囲まれて働くせいか、林業職には穏やかで気さくな職員が多いのが特徴です。仕事のフィールドは徳島の雄大な森林。デスクワークだけでなく、実際に山を歩き、現場の声を聞く機会が豊富にあります。そんな環境だからこそ、職場全体が家族のようにアットホーム。困った時はお互いに助け合う風土が根付いています。美しい景色と温かい仲間に囲まれ、のびのびと自分らしく働ける環境です。

木材産業の「未来」を育てる仕事

「木材産業を人とお金の面から支える」のが現在の仕事です。事業者の経営基盤を強化するための金融支援に加え、現場で働く人々の安全確保や、新たな担い手の確保に向けた環境づくりに尽力しています。
さらに、「とくしま木づかい県民会議」を通じて、県産材の魅力を広く発信するPR活動も重要な役割です。現場の支援から県産材のファンづくりまで、木材産業の未来を育てる業務に携わっています。

豊かな自然と木の温もりの中で、未来を育む仲間へ

剣山から海岸部まで広がる豊かな森、そして木の温もりに触れるおもちゃ美術館。私たちの職場は、どこよりも自然の恵みを肌で感じられる場所です。森林保全や木材振興を通じて、徳島の未来を支えるやりがいは格別です。「自然と共に働きたい」「故郷の役に立ちたい」。そんな熱い想いを持つあなたと働ける日を楽しみにしています！

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

水　産

多田　篤司
TADA ATSUSHI

農林水産部　水産振興課
主任

平成29年度入庁

「水産職」の業務概要
水産物の流通対策、漁業の担い手の育成・確保、資源管理の推進、漁業調整、漁港漁場の整備等の水産行政に係る業務等に従事

「水産職」の主な配属先
農林水産部水産振興課をはじめとする各所属ほか

現場の声を、徳島の水産業の未来へつなぐ

徳島県には、鳴門の激流が育むワカメや真鯛、紀伊水道のハモ、河川の恵みを活かした養殖アユなど、全国に誇る豊かな水産資源があります。水産職の最大の魅力は、こうした「現場（海・川）」と「行政」の架け橋になれることです。研究開発から、漁協への普及指導、資源管理のルール作りまで、業務は多岐にわたりますが、共通しているのは「徳島の水産業を支えている」という実感です。自分が関わった技術や施策によって、漁業者の所得が向上したり、資源が回復したりしたとき、他では味わえない大きな達成感を得ることができます。

デスクを飛び出し、青いフィールドへ。豊かな海を次世代へ繋ぐ伴走者

担い手の育成・確保、種苗放流を含めた資源管理、最新の技術を活用したスマート水産業の推進等を担当しています。また、川魚の「アマゴ」を海で養殖し「サツキマス」として流通させる、徳島の新ブランド「阿波さつき」の確立に向けて、関係者の皆様と意見を出し合いながら取り組んでいます。持続可能な水産業を実現するため、デスクワークだけでなく、漁業者の方々との対話や種苗放流、養殖試験等、アクティブな仕事が中心です。

熱意と挑戦で徳島の海に新しい波を

水産業は自然を相手にする仕事で、マニュアル通りにいかないことばかりです。近年は、その程度がより顕著になっており、これまでの常識やノウハウが通用しないこともあります。こういった局面だからこそ、創意工夫のしがいがあり、関係者の知識や経験を結集して、水産業をさらに盛り上げるため、皆さんの斬新なアイデア、熱意ある挑戦をお待ちしています！

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

獣医師

才力　慎也
SAIRIKI SHINYA

農林水産部
西部家畜保健衛生所
主任

平成29年度入庁

「獣医師職」の業務概要
食肉の安全性確保、東南アジアを中心とした牛肉などの海外輸出施設の衛生指導業務、動物愛護・管理業務等に従事

「獣医師職」の主な配属先
生活環境部安全衛生課、食肉衛生検査所、動物愛護管理センター、各家畜保健衛生所、農林水産部内関係各課ほか

一頭の健康から、地域社会の安全へ。「One Health」の最前線

徳島県庁の獣医師職は、「動物・人の健康・食の安全」を一体で守る「One Health」を最前線で実践できるのが最大の魅力です。
業務は多岐にわたり、家畜保健衛生所での防疫対策や畜産振興、保健所での食品衛生監視や狂犬病予防、さらには動物愛護管理センターでの譲渡推進など、専門知識を幅広く活かせます。
公務員として行政に携わるため、現場での一頭一頭への対応にとどまらず、制度や仕組みづくりを通じて地域社会全体に貢献できる点に、他では味わえないやりがいがあります。

家畜伝染病から地域を守る防疫担当の使命

防疫担当として、家畜伝染病の発生予防とまん延防止に従事しています。具体的には、農場を巡回して牛や豚、鶏の採血・検査を行い、病気の早期発見に努めるほか、飼養衛生管理基準に基づいた消毒方法などの技術指導を行っています。万が一の発生に備え、関係機関と連携した迅速な防疫措置のための演習も欠かせません。「徳島の畜産を最前線で守る」という強い責任感を持って、日々の業務に取り組んでいます。

多彩なフィールドで輝く専門性、徳島の未来を支えよう

徳島県庁の獣医師職は、家畜防疫や公衆衛生など職域が非常に広く、働きながら自分の「やりたいこと」が必ず見つかる環境です。専門知識を活かして地域を支え、課題を解決していく喜びは、県職員ならではの醍醐味。徳島の未来を、私たちと一緒に支えませんか？

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

保健師

高瀬　彩水
TAKASE AYAMI

保健福祉部
東部保健福祉局（徳島保健所）
係長

平成27年度入庁

「保健師職」の業務概要
保健所等において、地域の健康づくりや精神保健・感染症・健康危機管理対策等の広域的・専門的業務に従事し、多様な関係機関や県民との連携を推進

「保健師職」の主な配属先
保健所（県内6か所）、保健福祉部健康寿命推進課をはじめとする各所属ほか

多岐にわたるフィールドで活躍、魅力あふれる県保健師

県保健師は、公衆衛生看護の専門性と行政の視点を併せ持ち、広域の立場から地域全体の健康をつくる仕事です。健康課題が複雑化する中、現場のニーズを地域施策へとつなげる存在として、活動の領域は年々拡大しています。公衆衛生の拠点である保健所では、専門性の高い相談対応や調整力を養い、県庁の各部局では、PDCAを通じて施策の企画立案に携わります。健康づくり、福祉、子育てなど、多岐にわたる分野で専門性を活かせる環境があることは、県保健師ならではの大きなやりがいであり魅力です。

感染症・健康危機から地域を守るフロントライン

保健所の感染症業務は、予防と早期発見、感染拡大を防止することで、地域を守る役割があります。また、集団発生や健康危機事象発生時には、迅速な状況把握と被害抑制、終息に向けたマネージメント力を要し、組織の判断力と機動力が求められます。このため、平時からの準備や訓練、関係機関との連携構築に注力しています。感染症は目に見えないものだからこそ、正しい情報を発信し、人権への配慮や不安に寄り添うことが大切だと考えます。

つながる「経験」と「人」が保健師人生の財産に

徳島県には、100名を超える保健師が幅広い分野に配置されています。定期的な人事異動によって、多職種との協働や異なる分野・地域性から多くを学ぶことができます。この経験と人のつながりは、その後のあらゆる場面で助けになります。また、様々な年齢や職歴でも、段階的に専門性を高められる体系的な人材育成体制や相談できる環境が整っているので安心してください。

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

薬剤師

片山　幸
KATAYAMA MIYUKI

保健福祉部　薬務課
係長

平成19年度入庁

「薬剤師職」の業務概要
万代庁舎、保健所等における薬事・衛生・環境に関する監視・指導・調査研究等、
県立病院における医薬品の調剤・製剤・服薬指導等の業務に従事

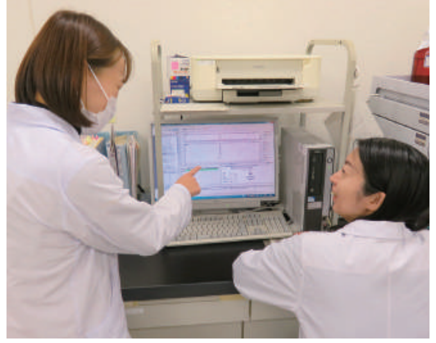
「薬剤師職」の主な配属先
保健福祉部薬務課、保健製薬環境センターをはじめとする各所属ほか

薬剤師の専門性で、県民の健康を支える「まちづくり」

県立病院での高度な医療提供から、薬事・食品・環境衛生に関する調査研究、事業者への許可や監視指導まで、活躍のフィールドは多彩です。病気の方だけでなく、健康な方の暮らしも支える「まちづくり」は県職員ならではの魅力です。地元企業や県民と協働して地域課題を解決する仕事は、「薬剤師」の職種の枠を超えた経験や成長を実感できます。専門知識を活かして、「安全・安心で健やかな徳島」を築くことが私たちのやりがいです。

医薬品等の安全性確保と薬剤師の人材確保

主な業務は、医薬品・医療機器等の製造業者等に対する許可業務と、薬剤師確保事業です。許可業務では、新規・更新申請時に設備や体制が基準に適合するか厳格に審査し、製品の安全性を確保します。 また、薬剤師確保事業では、大学や病院・薬局薬剤師と連携し、啓発イベントの実施や動画制作等のPR活動を推進するとともに、新たな事業の企画も行います。現場の声を取り入れながら多様な職種と協働し、徳島の安全・安心な医療を支えています。



世界につながる製薬県　支えがあるから挑戦できる職場

徳島県は医薬品製造所が多く、注射剤や抗がん剤等、多種多様な医薬品を世界中の医療現場へ届ける全国有数の製薬県です。世界へ届く医薬品の品質と安全を支える仕事は薬剤師としてやりがいを感じられます。また、薬剤師職は配属先に関わらずつながる機会がある風通しのよい環境です。互いに支え合い、専門的かつ幅広い業務に挑戦できる職場で一緒に働いてみませんか。

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

福　祉

坂東　優子
BANDOU YUUKO

こども未来部
中央こども女性相談センター
主任

令和4年度入庁

「福祉職」の業務概要
児童相談業務、児童自立支援業務、福祉事務所における生活保護業務に従事。
また、障がい者支援を行うセンター等における相談援助業務等に従事

「福祉職」の主な配属先
こども未来部、保健福祉部内各課をはじめとする各所属ほか

関わりのなかで実感する、家族の持つエネルギーと繋がり

福祉職としての業務の一つに、児童相談所での児童福祉司があります。つまり、児童福祉分野のソーシャルワーカーです。児童福祉司はこどもや保護者に対して助言したり、時にはこどもへの関わり方について指導を行ったりします。最初は家族像が見えにくいこともありますが、対話を重ねる中で「どのような家族でありたいか」自ら発信してくれることがあります。時には衝突しつつも、家族で話し合いながら、着実に歩みを進める姿をみることができるのも児童福祉司ならではだと思います。

チームで紡ぐこどもの明日。多職種の知恵を重ね、家族を繋ぐ

現在、児童福祉司として虐待対応、こどもの発達や育児に関する相談等に携わっています。対応する中で、ネガティブな情報だけでなく、家族の強みを感じられる場面も多くあるため、様々な視点から物事を考えるように心がけています。こどもや保護者への対応は、児童福祉司だけが行うのではなく、他職種（児童心理司や保健師等）に相談しながら、また必要に応じて関係機関とも共有し、より良い関わりを築くことができるよう努めています。

無駄な経験は何一つない。その経験が、こどもや家族への支援のチカラに変わる

福祉職は児童相談所だけでなく、福祉事務所や万代庁舎等にも配属され、こどもだけでなく、障がい者や高齢者等、その対象や業務範囲は多岐にわたります。今、取り組んでいることが「福祉職には関係ないかも･･･」と思うことはあるかもしれませんが、無駄になってしまうことは何一つありません！自分自身の気持ちを大切に、前向きに取り組んでみてくださいね。

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

心 理

後藤　志保
GOTOU SHIHO

こども未来部
中央こども女性相談センター
主任

平成28年度入庁

「心理職」の業務概要

県民を対象とした福祉・医療領域の相談支援機関において、心理面接・心理判定・相談支援などの専門的な業務に従事

「心理職」の主な配属先

こども女性相談センター（県内3か所）、精神保健福祉センターほか

困難の中に見出す、希望の光

心理職として出会う子どもたちや保護者の方々は、何かしら困難な状況にありながらも、懸命に生きておられます。支援者としても、どうすれば問題が解決できるか、日々悩みながら職務に当たっています。そのような中でも、関わり続けることで、小さな変化を見つけたり、相談者の方ご自身が変化に気づかれたりすると、大きな希望を感じます。他の職員や関係者の方と協働し、苦労や喜びを分かち合うことができるのも、心理職の魅力です。

多様なアプローチで子どもたちを支える

中央こども女性相談センター（児童相談所）で、児童心理司として配置されています。児童虐待や家庭環境、障がい、非行、不登校など、18歳未満の子どもに関する様々な相談に対応しています。子どもたちへの心理検査や面接を行い、保護者や関係機関の方と協力して、子どもたちの心をサポートしています。所内だけに留まらず、家庭や児童養護施設等への訪問、医療機関への受診同行、ケース会議への参加など、外へ出向くことも多いです。

出会いの数だけ学びがある。心に向き合う道へ

人の心に向き合う業務であり、臨機応変さや柔軟な発想に加え、相談者の方に対してリスペクトを持つ姿勢が求められます。心身共に大変なこともありますが、上司や先輩方、同僚の皆さんに支えていただき、学び続けることのできる、恵まれた環境にあります。業務の中で出会う方々から学ばせていただくことも沢山あります。私たちと一緒に、日々成長していきましょう。

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

電 気

吉田　慎吾
YOSHIDA SHINGO

企業局　総合管理推進センター
主任

令和4年度入庁

「電気職」の業務概要

水力及び太陽光発電施設並びに工業用水道施設等における技術（強電）的業務のほか、電気事業等の経営に関する業務に従事

「電気職」の主な配属先

企業局経営企画課ほか

社会インフラの最前線、徳島の鼓動を電気で支える

企業局総合管理推進センターでは、４か所の水力発電所、２か所の太陽光発電所、２か所の工業用水道施設の保守管理と遠隔監視制御を行っています。電気職の職員は、これら社会インフラを支える一端を担うこととなります。スケールの大きな施設・設備となりますので、不安や責任感に押しつぶされそうになることもありますが、同僚や先輩職員と協力し、問題を解決できたときには、何ものにも代え難いやりがいと自らの仕事に誇りを持つことができます。

徳島の灯を守り抜く、発電設備の保守管理

私が所属する発電担当では、水力発電設備である「勝浦発電所」、太陽光発電設備である「マリンピア沖洲太陽光発電所」と「和田島太陽光発電所」の保守管理が主な業務となります。各発電所の巡視及び定例的な点検作業のほか、老朽化した設備の修繕工事や更新工事などの設計・積算及び現場監督も行います。また、天災や老朽化によって設備に問題が起きた際には、現場に急行することもあり、迅速かつ臨機応変に対応する現場力が求められます。

腕を磨けるフィールドへの挑戦

企業局が所有する施設・設備を職員自らが点検、補修していますので、公務員でありながらも技術者として腕を磨くことができます。
さらに、ＯＪＴを積極的に行い若手職員の育成にも力を入れていますので、発電所や工業用水道施設で働いてみたいけど、ちょっと不安だなという方でも安心してください。
私たちがサポートしますので、一緒に働いてみませんか！

二次元コードを読み取ると
各掲載者のインタビュー
全体を見ることができます。

新規採用職員座談会の完全版は、徳島県職員採用案内ホームページをチェック！▶

https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/job/5035227

新採 INTERVIEW インタビュー！

入庁１年目の職員４名に、入庁の決め手や仕事のやりがい、試験対策などについてざっくばらんに語ってもらいました。

小川 雄大（農業職）
南部総合県民局農林水産部〈美波〉海部プロジェクト担当

●業務内容／農業者への栽培指導、現地巡回、生育調査、栽培講習会などを通して、「きゅうりの普及業務」を行う。

●好きな食べ物は寿司。休日は、徳島ヴォルティスの応援でリフレッシュ！

ある日のスケジュール

8：30	始業・メールチェック
10：00	農協との打合せ
12：00	昼食・出張先の近辺の飲食店へ
13：00	きゅうりハウスでの栽培指導・生育調査
17：15	退庁

上田 響希（総合土木）
都市計画課まちづくり室 まちづくり担当

●業務内容／都市計画諸調査や市町のまちづくりに関する事務に携わる。

●好きな食べ物は焼き肉、ラーメン。休日は、おいしいものを食べてリフレッシュ！

ある日のスケジュール

8：30	始業・メールチェック
10：00	市町村担当者との協議
12：00	昼食・お手製弁当を食べる
14：00	国へ提出する書類の確認・修正
17：15	退庁

大島 愛（行政事務）
高規格道路課 予算経理担当

●業務内容／工事・委託の契約締結に関する事務を担当する。

●好きな食べ物はたこやき。休日は、あちこち旅行に行くのが楽しみです。

ある日のスケジュール

8：30	始業・メールチェック
10：00	月例報告業務
12：00	昼食・お弁当を食べる
13：00	工事締結業務
17：15	退庁

川野 真佑（行政事務）
情報政策課 地域社会DX担当

●業務内容／マイナンバー制度に関する市町村への照会・周知・問い合わせ対応やTokushima Free Wi-Fiの管理・運営。

●好きな食べ物はチーズケーキ。休日は、米津玄師のLIVE映像鑑賞！バレーボールサークルで運動！

ある日のスケジュール

8：30	始業・メールチェック
10：30	マイナンバー定例業務
12：00	昼食・お手製弁当を食べる
13：00	市町村への照会・回答とりまとめ
17：15	退庁

徳島県庁を選んだ理由は？

小川：徳島県庁を志望した理由は、生まれ育った徳島で働き、徳島県の農業の発展に貢献したいと思ったからです。私の家族は農業を営んでおり、幼い頃から農業に対して興味を持つようになりました。そのため、徳島県の農業全体を支える仕事ができ、幅広い業務に関われる農業職に魅力を感じました。自分の仕事が地域や生産者の役に立っていると実感できる環境だと考え、入庁を決めました。

川野：情報政策課で地域情報化の推進に携わりたいと思い志望しました。大学で情報数学を専攻していた経験から、情報の取捨選択やそれらを論理的に組み立てて考えることの重要性を学びました。この力を地元徳島県で活かし、ICT世代だけではなく県民全体が「情報」で新たな繋がりを生み、活気のある徳島県を作りたいと思っています。

上田：大学で都市計画を専攻し、生まれ育った徳島の「中心市街地の活性化」や「魅力ある空間づくり」という課題に当事者として取り組みたいと考え志望しました。市町村よりも広い視点から、県内各地域の個性を活かしたまちづくりのグランドデザインを描ける点に強い魅力を感じています。専門知識を活かし、誰もが安全に心地よく住み続けられる徳島を築きたいです。

仕事のやりがいは？

川野：様々な研修やイベントに参加する機会を頂いて、自分の業務に活かせたり、スキルアップのチャンスを頂けたりすることです。入庁１ヶ月のとき、東京への出張でDCONを見学しました。その分野で活躍している教授や学生たちの姿勢から、自身も学べることはないかと考えを巡らせ、スキルアップのために検定を受験する機会を頂きました。前向きに勉強中です。

小川：生産者や関係機関と連携しながら、地域農業の課題解決に直接関われることです。栽培技術の指導や情報提供を通じて、生産者から感謝の言葉をいただいた時に大きな達成感を感じます。まだ経験が浅く、学ぶことも多いですが、地域農業の発展に少しでも貢献できていると実感できることが日々の励みになっています。

上田：自分が携わった都市計画が、実際の道路や広場といった「形」となって地域に現れる過程に大きな責任と喜びを感じます。現在は、市町村や関係各所との調整業務が主ですが、多角的な視点から検討を重ねた案が合意に至り、一歩ずつ事業が進展していくのを肌で感じることは、技術職・行政職を問わず大きなモチベーションです。

働いてみて意外だったこと

大島：働いてみて意外だったことは、入庁後しばらくは先輩の補助をしながら仕事を覚えていくものだと思っていた点です。しかし、実際には、初日から自分が担当する業務が明確にあり、責任を持って対応する必要がありました。その経験を通して、仕事への向き合い方が想像以上に早く切り替わり、自覚と責任を持って働く意識が自然と身についたと感じています。

川野：県民の皆さんが参加できる季節ごとのイベントが県庁で開催されていることです。キッチンカーが出たり、徳島の特産品のお店が出たりと入庁するまで知らなかったイベントがたくさんありました。また、食堂では職員だけでなく県民の皆さんも利用できるようになっており、期間限定のメニューなど目新しい食事を楽しむことができます。

上田：技術職は現場に足を運ぶ機会がメインだと思っていましたが、実際には本庁に配属されると、デスクで関係各所との調整や書類作成にあたる時間が想像以上に多く、驚きました。一つの事業を動かすためには、現場の状況を把握した上で、緻密な計画立案や法的な整合性の確認といった「机上での積み重ね」の重要性を知ったことは大きな発見でした。

県庁を受験するにあたり試験対策は？

小川：大学の公務員講座を受講していました。筆記試験対策では、間違えた問題を繰り返し解き、必ず復習することで理解を深めました。面接試験対策では、自分が県職員としてどのように貢献したいのかを具体的に伝えられるよう、日頃から考えを整理していました。本番を想定した練習を重ねることで、落ち着いて臨めるように意識していました。

大島：県庁受験に向けて、筆記試験対策として多くの参考書や過去問に取り組み、基礎を中心に勉強しました。
また、説明会等に積極的に参加し、仕事内容や職場の雰囲気について情報収集を行いました。早めに具体的なイメージを持てたことが、受験対策につながったと思っています。

川野：常にニュースや新聞から地域社会の課題を把握・理解し、それに対する自分の考えを意識しながら見ることです。自分の考え方の傾向などから自己分析にも繋がりますし、時事について知ることは面接や論文対策だけでなく、筆記試験の対策にもなるのでとても重要だと感じました。

令和7年度 新規採用職員アンケート

回答者120名（複数回答可）

令和7年度の新規採用職員の皆さんにアンケートに答えてもらいました！ 先輩職員のリアルな声を聞いてください。

Q1.県職員として働いてみた感想は？

- 職場の雰囲気がいい（49名）
  - ・堅苦しいイメージがあったが、若手が多く、相談がしやすい雰囲気。
- 業務の幅が広い（16名）
  - ・定型的な業務が多いと思っていたが、事業など自分の裁量でできる自由度の高い業務も多いと感じた。

Q2.仕事でやりがいを感じたことは？

・市町村からの相談などを受けると、県としての広域行政を実感。
・イベントで徳島県のブースに人を呼び込んで、好評の声を聞いたとき。

Q3.採用試験前にしておけば良かったと思う試験対策は？

- 面接（44名）
- 県の取組（43名）
- 専門試験（37名）
- 教養試験・職務能力試験（33名）

check アンケートの全体はホームページをチェック！

未来の県庁職員へメッセージを！

小川：公務員試験の勉強は思うように成果が出ず、不安や焦りを感じることも多いと思います。それでも継続して積み重ねてきた努力は必ず自分の力になっています。体調には十分気を付けながら、自分のペースで最後まで頑張ってください。徳島県職員として皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

上田：徳島県庁は、あなたの「徳島を良くしたい」という真っ直ぐな想いを形にできる場所です。試験勉強が続く毎日は大変かと思いますが、その努力の先には、地域の未来を自分の手で彩るという素敵な挑戦が待っています。熱意ある皆さんと一緒に働ける日を、私も心から楽しみにしています！

大島：公務員試験は範囲が広く、勉強が大変だと感じることも多いと思います。しかし、その努力は必ず力になります。結果がすぐに見えなくても、コツコツ続けることが大切です。県職員として、一緒に働ける日を楽しみにしています！

川野：試験勉強は、大学で専攻していた理系分野とはかけ離れたものだったので、新たに勉強する内容ばかりでした。モチベーションが保てず悩むこともありました。しかし、専攻していた分野に近い問題は完答するという目標をモチベーションに、他の分野の勉強に取り組みました。私と同じような立場の人もいると思いますが、自分には何ができるのかを考えて頑張ってください！

充実の子育て支援!

こどもたちがより豊かに育っていける支援を目指し、徳島県では職員の子育て支援の取組を推進しています。

子育て支援関係の主な休暇休業制度

※ここでは一部のみを掲載しています。詳細な条件等は県ホームページで御覧いただけます。

出　生 ／ 1歳 ／ 1歳半 ／ 3歳

制度	内容
産前休暇（女性）	産前8週間（多胎妊娠の場合は14週間）
産後休暇（女性）	出産の翌日から8週間
配偶者出産補助休暇（男性）	出産（予定）日の前後2週間において3日以内
男性の育児参加のための休暇	出産（予定）日の前8週間から産後1年を経過する日までの間で5日以内
育児休業（男女とも）	子が1歳になるまでは共済組合から育児休業手当金の支給を受けることが可能
育児時間休暇（男女とも）	1日2回　各45分
部分休業（男女とも）	子が小学校就学の始期に達する日まで1日2時間以内又は1年に10日のいずれかを選択（休業部分が無給）
育児短時間勤務（男女とも）	子が小学校就学の始期に達する日まで複数の勤務形態から選択可（勤務時間数に応じた給与）

このほか、
- 不妊治療に関する休暇
- 妊産婦検診休暇
- 妊娠障害休暇
- 子の看護等休暇
- 介護休暇等があります。

有給 ／ 無給

取得しやすい育児休業

男性職員の育児休業取得率 75.4%

育児休業を取得した男性職員のうち

1ヶ月超えの育休を取得した男性職員 73.5%

※令和6年度

子の看護等休暇は有給

対象：中学校就学の始期に達するまでのこども

こども1人につき、1年に5日まで（対象となる子が2人以上の場合は10日まで）休暇が取得できる制度です。

- 病気、けがをした子の看護をする場合
- 子に予防接種・健康診断を受けさせる場合
- 感染症に伴う学級閉鎖等になった子の世話をする場合のほか

学校行事の参加等にも使用可能！

（子が感染症に罹患していなくても取得可能）

Our 育児 体験記!

取得時期
R3年9月～R5年8月まで

西部総合県民局
県土整備部(美馬)
主任
穴田 奈々恵

子供の成長を見守れた時間は「宝物」

令和3年8月に第1子を出産しました。当時はコロナ禍の真っ只中。対面での面会制限や外出自粛が続く中、「この先どうなるのか」という漠然とした不安を抱えていたことを覚えています。その不安を解消し、子供を守るために選択したのが、「2年間の育児休業」でした。長期間職場を離れることに当初はためらいもありましたが、公務員には最大3歳まで取得可能な手厚い身分保障があり、周囲も「今は家庭を優先して」と背中を押してくれました。この選択のおかげで、世の中が不安定な時期でも、自宅という安心できる環境で子供の初めての言葉や歩き始めを一つも見逃すことなく、じっくりと向き合うことができました。

先の見えない状況下でも、経済的・立場的な不安を感じずに子供の成長を一番近くで見守れた時間は、私にとって何物にも代えがたい「人生の宝物」です。

フォローしてくれる職場環境に感謝

我が家は夫婦で県職員です。現在、夫は県外に単身赴任し、私は徳島県内で勤務しています。私は朝夕1時間ずつの部分休業を活用しながら勤務を続けています。急な子供の発熱や多忙時には、実家のサポートに加え、職場のメンバーが「お互い様だから」と快く業務をフォローしてくれる環境に何度も救われました。経済的な安定はもちろん、周囲の温かい助けがあるからこそ、離れて暮らす期間もキャリアを途絶えさせず、前向きに挑戦し続けられるのだと実感しています。

仕事と子供、両方大切にしながら歩む

「キャリアか育児か」という選択肢に悩む必要はありません。

ライフステージが変わろうとも、充実した福利厚生をフル活用し無理なく働き続けることが可能です。公務員には、周囲が自然にフォローし合う温かい文化があります。職場そして家族の支えがあるからこそ、仕事のやりがいも子供との時間も諦めず、どちらも大切にしながら自分らしく歩めています。未来への不安を希望に変え、私たちと一緒に徳島で輝きませんか？

取得時期
R5年8月～R6年7月まで

生活環境部
労働雇用政策課
主任
佐竹　俊明

育休で築く「家族のリズム」

第三子の誕生を機に約1年間の育休を取得しました。長男や二男ともじっくり向き合い、子供たちの成長を間近で見守れたことはかけがえのない経験です。平日の家事・育児を主体的に担うことで、生活の細かな動きまで把握でき、妻との連携もよりスムーズになりました。男の子3人の賑やかな生活に馴染み、新たな家族のリズムを確立できたのも、長期取得のおかげです。この経験は今の仕事の活力にも繋がっています。

充実の制度が職員をサポート

看護休暇等の制度が充実しており、子供の急な発熱や平日の行事にも気兼ねなく対応できています。職場には子育て中の職員も多く、互いにサポートし合う文化が根付いているのが心強いです。

休憩時間等には「子育てあるある」を共有するなど、悩みも気軽に相談できる温かい雰囲気があります。制度面だけでなく、周囲の理解という心理的な支えがあるおかげで、公私ともに充実した毎日を送りながら、前向きに働けています。

子育てしながら築けるキャリア

子育てを支える休暇や支援制度が充実しており、公的な組織として福利厚生の運用が徹底されている点は大きな魅力です。

育休取得時の代替職員の配置など、周囲への負担を軽減する仕組みがあるため、後ろめたさを感じることなく安心して制度を活用できます。職場の理解も深く、ライフステージが変化しても着実にキャリアを築ける、仕事と家庭を共に大切にできる環境が整っています。

ワークライフバランス

年次有給休暇 **年間20日** ｜ 前年からの繰越を含めると最大年間 **40日**

夏季休暇（6月～10月）**5日** ＋ リフレッシュ休暇（10年目以降5年ごと）**5日**または**3日**

充実の休暇制度

多くの便利な制度があるよ

介護休暇、慶弔・出産・育児・不妊治療

年次有給休暇 平均取得日数 **13.7日** ※令和6年度

ライフスタイルに合わせた働き方を！

働き方の組合せは無限大！

長短勤務 9時間30分＋6時間など3パターンから選択可能！

時差出勤 始業時間を7時30分～10時の間で30分単位で選択可能！

選択的週休3日　**テレワーク**

お金！

試験種別	試験区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	行政事務ほか	大学卒	237,600円
大学卒業程度	薬剤師	大学6卒	258,100円
大学卒業程度	管理栄養士	大学卒	244,900円
大学卒業程度	保健師	大学卒	272,200円
短期大学卒業程度	総合土木	短大卒	222,600円
高等学校卒業程度	行政事務ほか	高校卒	206,700円

※職歴等に応じた給料月額の加算もあります！

初任給 令和8年1月1日現在

試験種別	試験区分	職務経験年数及び職務内容等に応じ個別に決定されます。	給料月額
民間企業等職務経験者（県外社会人枠）	行政事務	例）採用時40歳。大学卒業後、民間企業で常勤職員として18年勤務し、主任として採用された場合。	305,000円
行政実務経験者採用	行政事務	例）採用時40歳。国等に大卒程度の試験により採用され、正規職員で18年間勤務し、係長として採用された場合。	330,000円

「奨学金返還支援制度」開始！

New

対象：R8、9年度に「総合土木」「林業」「建築」の職種で採用された者

支援要件：採用後３年以上県で就業する者

支援内容：（独）日本学生支援機構が貸与する

- 第一種奨学金：借受総額の１／２（上限額125万円）
- 第二種奨学金：借受総額の１／３（上限額 85万円）

諸手当

要件に応じて、地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当等が支給されます。

期末・勤勉手当は（令和７年度実績）

年2回（6月と12月）支給! 2回合計＝4.65月分!

赴任旅費

採用等に伴い住居の移転を行った場合は、赴任旅費が支給されます！

R8年度より原則実費支給！

キャリア

新鮮な環境で働き続けられます

事務職と技術職の垣根を越えた人事異動により、様々な分野で知識・経験・能力を活かし活躍できます。経験や勤務成績等に基づく選考により昇任していきます。

成長を実感できるキャリアステップ！

例）事務職：主事→主任主事→主任→係長→課長補佐→副課長→課長→副部長→部長

For Example

早い人で **26~27**歳で**主任主事**
30~31歳で**主任**に昇任!

経験を広げるジョブローテーション!

人事異動

事務職の新規採用者は、約２分の１が本庁舎に配属され政策企画部門を中心とした職場に、約２分の１が出先機関など現場に近い職場に配属されます。人事異動は原則３年サイクルが基本で、いろいろな部署を経験できるようになっています。人事異動に当たっては、異動先の希望を、自己申告する機会が設けられています。

庁内公募制度

また、高度な専門性が求められるポストへ職員自らが手上げ方式で応募できる「庁内公募制度」があり、興味のある分野のプロフェッショナルへ進むこともできます。

学ぶ！

OJT・OFF-JTによる着実なオンボーディング支援！

基礎知識の取得

- 新規採用職員研修
- 階層別研修（主任級研修、副課長級研修等）等

職場環境の向上

- OJT指導者研修
- 快適な職場づくり講座 等

専門性・キャリアアップ

- リスキリングを支援するオンライン研修
- デザイン思考研修 等

徳島を飛び出し、国内外を舞台に活躍！

国、他県、民間企業、海外機関への研修派遣も行っています！

キャリアや職務内容に応じた研修制度が充実しています！

R7年度 主な派遣先

- 国・都道府県
  内閣府、消費者庁、デジタル庁、総務省、外務省、財務省、厚生労働省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、鳥取県、香川県、愛媛県、高知県
- 民間企業・団体
  日本航空、全日本空輸、四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構
- 海外
  自治体国際化協会（ロンドン事務所・ソウル事務所）、クレアソウル事務所、タイ工業省ジャパンデスク、ジェトロ香港事務所、在マレーシア日本国大使館、在香港日本国総領事館

令和8年度 徳島県職員採用試験の主な変更点

若手・中堅職員がより主体的・積極的に関われる職場が、あなたを待っています！

大学卒業程度　試験名称を「夏試験、秋試験、春試験」に変更！

「夏試験」、「秋試験」、「春試験」のスケジュール

	受付	第1次試験	最終合格
夏試験	4/10～5/15	6/21	8月上旬
秋試験	7/1～8/10	8/29～9/27	12月上旬
春試験	R9.1月上旬～1月下旬	R9.2月上旬～2月下旬	R9.3月下旬～4月中旬

- 令和8年度の大学卒業程度試験は、3回実施します。※1～3
- 「秋試験、春試験」は、「テストセンター方式」による職務能力試験を実施します。
- 「夏試験」は、従来の試験内容により実施します。

(1次試験)　(R7年度)		(1次試験)　(R8年度)
R7.4月　大学卒業程度(早期枠)		
R7.6月　大学卒業程度	→	R8.6月　大学卒業程度(夏試験) ※1(従来方式)
R7.9月　大学卒業程度(秋試験)	→	R8.8月　大学卒業程度(秋試験) ※2(テストセンター方式)
R8.2月　大学卒業程度(春試験)	→	R9.2月　大学卒業程度(春試験) ※3(テストセンター方式)

「秋試験、春試験」とは？

第１次試験(職務能力試験、適性検査)を「テストセンター方式」で実施します。

- 職務能力試験は、基礎的な内容を出題する試験で60題・60分となっています。
- R7年度に「早期枠」で実施していた「論文試験」は廃止されました。
- 試験期間中に、全国に設置されたテストセンターから都合の良い日時・場所を選んで受験できます。第１次試験は、来庁の必要はありません。

「秋試験、春試験」は大学３年生から受験可能です。

- R9年4月1日時点年齢で、22歳～27歳までの方と、21歳以下で大学既卒又はR10年3月31日までに大学卒業見込みの方(大学３年生)が受験できます。
  試験区分「建築、総合土木、林業」については、21歳以下で短大・高専既卒又はR9年3月31日までに短大・高専卒業見込みの方も受験できます。

「秋試験」はR8年12月上旬、「春試験」はR9年3月下旬～4月中旬に最終合格発表を行います。

- 最短で大学３年生の12月上旬に、最終合格結果(採用候補者名簿への掲載)が分かるようになりました。

「夏試験」の変更点！

- 申込時に「エントリーシート」が必要となります。
  様式は、職員採用案内ホームページに掲載します。

柔軟な働き方により、仕事の充実度もアップ！ 徳島県を一緒に盛り上げましょう！

民間企業等職務経験者　試験名称を「秋期枠、春期枠」に変更！

「秋期枠」、「春期枠」のスケジュール

	受付	第1次試験	最終合格
秋期枠	7/1～8/10	8/29～9/13	11月上旬
春期枠	R9.1月上旬～1月下旬	R9.2月上旬～2月下旬	R9.3月下旬～4月中旬

- 令和8年度の民間企業等職務経験者試験は、2回実施します。※1～2

(1次試験)　(R7年度)		(1次試験)　(R8年度)
R7.4月　民間企業等職務経験者(第１回)		
R7.9月　民間企業等職務経験者(第２回)	→	R8.8月　民間企業等職務経験者(秋期枠) ※1
R8.2月　民間企業等職務経験者(春期枠)	→	R9.2月　民間企業等職務経験者(春期枠) ※2

※1と同じ日程で「就職氷河期世代」の試験を実施します。

第１次試験(職務能力試験、適性検査)を「テストセンター方式」で実施します。

- 職務能力試験は、基礎的な内容を出題する試験で60題・60分となっています。
- 試験期間中に、全国に設置されたテストセンターから都合の良い日時・場所を選んで受験できます。第１次試験は、来庁の必要はありません。

R7年度に「第１回、第２回」で実施していた「論文試験」は廃止されました。

「秋期枠」はR8年11月上旬、「春期枠」はR9年3月下旬～4月中旬に最終合格発表を行います。

【各試験共通】

受験申込みの開始を前倒し、受付期間を延長します。

大卒夏	R8.4.10～5.15 (36日間)
大卒秋・短大卒・高卒・ 民間秋・氷河期・障がい者選考	R8.7.1～8.10 (41日間)

職員採用案内HP

採用Q&A

採用試験について、あなたの疑問に答えます!

Q 「大学卒業程度」の試験は、大学卒業(卒業見込み)者でなければ、受験できないのですか?「短期大学卒業程度」や「高等学校卒業程度」の試験とは、どのように違うのですか?

A 大学卒業の学歴の有無に関わらず、年齢等の受験資格を満たしていれば受験できます。

「大学卒業程度」の県職員等採用試験は、大学卒業程度の学力を必要とする試験であり、大学卒業の学歴を受験資格とするものではありません。また、「短期大学卒業程度」及び「高等学校卒業程度」の採用試験も同様です。
ただし、大学卒業又は卒業見込みの方は「短期大学卒業程度」及び「高等学校卒業程度」を受験することはできません。加えて試験区分によって、受験資格が異なるものがありますので、受験される年度の『試験案内』等で必ずご確認ください。

Q 年齢、性別、出身校、職歴や県外の出身などは、採用試験の合否に影響しますか?

A 年齢、性別、出身校、職歴や出身地などが合否に影響することはありません。

県職員、警察官等の採用試験は、公平・公正に実施しており、受験資格を満たしていれば、どなたでも受験でき、年齢、性別、出身校、職歴や出身地などが合否に影響することはありません。

Q 採用試験の内容について教えてください。また、過去の試験問題は公開されていますか?

A 第1次試験問題については、公開していません。第1次試験の試験種目(教養試験・職務能力試験・専門試験)や出題数、出題分野については、それぞれの『試験案内』でお知らせします。

また、過去の出題問題と同程度の問題について、「例題」として公開していますので、問題の形式、難易度等の参考にしてください。論文試験及びプレゼンテーションについては、過去に出題した課題を公開しています。
これら例題等については、徳島県職員採用案内ホームページに掲載しているほか、県庁1階にある県庁ふれあいセンターにおいて、閲覧できます。

Q 過去の採用試験の倍率は、どのような状況ですか?

A 過去に実施した県職員、警察官等の採用試験の実施状況については、徳島県職員採用案内ホームページの「申込・試験実施状況」において公表しています。

過去に実施した県職員、警察官等の採用試験の実施状況について、採用試験が実施された試験種別や試験区分、採用予定人員、第1次試験受験者数、最終合格者数を、徳島県職員採用案内ホームページの「申込・試験実施状況」において公表しています。
ただし、倍率については、実施される試験種別や試験区分、採用予定人員、受験者数により、大きく変わりますので、その点にご留意の上、参考としてください。

Q 採用試験に合格すると、必ず採用されるのですか?

A 必ずしも最終合格者全員が採用されるわけではありません。

県職員、警察官等の採用試験の最終合格者は、人事委員会が作成する採用候補者名簿に登載され、その中から各任命権者(知事、教育委員会、警察本部長など)が、採用の意向確認等又は採用面接を行い採用者を決定します。
したがって、必ずしも最終合格者全員が採用されるわけではありません。

! その他採用についての質問は、ここをチェック!
● 徳島県職員採用案内ホームページ > よくある質問

Check!

県庁のしごとを知りたい学生の皆さんはこちら!

徳島県庁版OB・OG訪問!(通年実施)
希望する職種や興味のある分野に携わっている先輩職員とお話できます!

徳島県庁インターンシップ!(例年7月頃募集開始)
事務・技術職で様々な分野の職場体験ができるコースをご用意しています!

■ 採用までの主な流れ ■

● 掲載していない試験を実施する場合があります。詳しくは徳島県職員採用案内ホームページをご確認ください。

Check! 試験の種類や実施年度によって異なる場合がありますので、必ず試験案内を確認してください。

<table>
<tr><th></th><th>大学卒業程度(夏試験)</th><th>短期大学卒業程度
高等学校卒業程度</th><th>大学卒業程度(秋試験)
・
民間企業等職務経験者(秋期枠)
・
就職氷河期世代</th><th>大学卒業程度(春試験)
・
民間企業等職務経験者(春期枠)</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="10">人事委員会</td><td colspan="4">2月</td><td>総合案内(試験日程など)公表</td></tr>
<tr><td colspan="4">3月</td><td>採用説明会(参加は任意)</td></tr>
<tr><td>4月上旬</td><td>4月</td><td>4月</td><td>R8.12月下旬</td><td>募集職種・人数等公表</td></tr>
<tr><td>4月上旬</td><td>7月上旬</td><td>6月上旬</td><td>R8.12月下旬</td><td>試験案内公表</td></tr>
<tr><td>4月上旬～5月中旬</td><td>7月上旬～8月上旬</td><td>7月上旬～8月上旬</td><td>R9.1月上旬～下旬</td><td>受験申込受付・受験票ダウンロード</td></tr>
<tr><td>6月下旬</td><td>9月下旬</td><td>大卒(秋)
8月下旬～9月下旬
民間(秋)・氷河期
8月下旬～9月中旬</td><td>R9.2月上旬～下旬</td><td>第1次試験</td></tr>
<tr><td>7月上旬</td><td>高卒程度
10月上旬
短大卒程度
10月中旬</td><td>10月上旬</td><td>R9.3月上旬</td><td>第1次試験合格発表</td></tr>
<tr><td>7月中旬～</td><td>高卒程度
10月上旬～下旬
短大卒程度
10月下旬～11月上旬</td><td>大卒(秋)
10月下旬～11月下旬
民間(秋)・氷河期
10月上旬～下旬</td><td>R9.3月中旬～下旬</td><td>第2次試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8月上旬</td><td rowspan="2">高卒程度
11月上旬
短大卒程度
11月中旬</td><td rowspan="2">大卒(秋)
12月上旬
民間(秋)・氷河期
11月上旬</td><td rowspan="2">R9.3月下旬
～4月中旬</td><td>最終合格発表</td></tr>
<tr><td>採用候補者名簿に登載※</td></tr>
<tr><td rowspan="3">任命権者(知事等)</td><td colspan="5">採用の意向確認等 ※民間企業等職務経験者・就職氷河期世代については採用面接を実施</td></tr>
<tr><td colspan="5">採用内定</td></tr>
<tr><td colspan="5">採　用</td></tr>
</table>

※採用候補者名簿登載後に、任命権者が採用意向等を確認の上採用者を決定します。
したがって、必ずしも採用候補者名簿に登載された者が全員採用されるとは限りません。

試験に関する情報・問合せ

徳島県職員採用案内ホームページ

SNSでも情報発信中!

徳島県職員採用 X

徳島県職員採用 Facebook

徳島県職員採用 LINE

徳島県職員採用 Instagram

徳島県人事委員会事務局任用課
〒770-8570　徳島市万代町1丁目1番地　徳島県庁5階
TEL.088-621-3212　FAX.088-621-2887
E-mail:shiken@mail.pref.tokushima.lg.jp

徳島県企画総務部人事課
〒770-8570　徳島市万代町1丁目1番地　徳島県庁3階
TEL.088-621-2358　FAX.088-621-2825
E-mail:jinjika@pref.tokushima.lg.jp

※当パンフレットの掲載内容は、令和8年2月現在のものです。